

「高分子科学インタラクティブインターンシップ」海外短期留学報告書

理学研究科 高分子科学専攻 佐藤研究室 M2 道堯大祐

派遣先： University of Montreal, Faculty of Pharmacy and Department of Chemistry

Francoise M. Winnik (Professor) Laboratory

期間： 2006.9.15~2006.9.30

昨年度に引き続き行われた「インタラクティブ大学院教育」プロジェクト。私は海外短期留学生としてカナダのモントリオールに約 2 週間滞在させていただきました。留学先はモントリオール大学の Winnik 先生の研究室で、主に水溶性ポリマーを中心とする高分子の会合挙動や熱的特性、また薬学部ならではのドラッグデリバリーシステムについての研究がさかんに行われております。非常に国際的な研究室で、研究員の中には私以外にも他国出身の方が何人もいらっしゃいました。



モントリオール大学

今回の留学の主な目的は、自身の研究についての発表を行い、ディスカッションすること。また当研究室の手法に従っての高分子の合成や、等温滴定型熱量 (ITC) 測定を行うことでした。Winnik 先生をはじめとするメンバーの方々はとても親切で、暖かく迎えられた私はプレゼンテーションおよびディスカッションを通して様々な助言をいただくことができました。また初めて使う装置の使い方なども丁寧に教えてくださり、実際に実験を行う上でも色々と相談に乗っていただきました。こうした協力のもと、有益な結果を得ると同時に、日本とは異なる海外での研究スタイルを知ることができました。

モントリオールが位置するケベック州はフランス語圏なので、フランス語を学んだことがない私にとっては不安な面もありましたが、周りの人に支えられながら非常に有意義な時を過ごすことができました。特にこの時期のモントリオールは過ごしやすく、秋晴れの下、少し紅葉がかった木々の間を走り抜けるリスを見ながら毎日通学するのは、とてもすがすがし



モントリオール大学から見える夜景

かったです。このようなかけがえのない経験を通して得たことは今後の研究生活にも是非生かしていきたいと思います。

最後に、このような機会を与えてくださったインタラクティブプログラム、Winnik 研究室の方々、そして様々な面で支えてくださった皆様に心より感謝の意を表します。